

# ゴシックアーチを2回使ったスムーズに擦れる義歯の作り方

～ 患者さんにとって使い心地の良い義歯を目指して～

愛知県歯科技工士会 知多支部 今瀬 大輔

咬み合わせ医療会中部支部 支部長 歯科医師 古田 貴司

皆さんは自分が作った入れ歯が患者さんに心地良く使ってもらっているかどうか、気になったことはありませんか？

学校で習った既存の作り方で、技工士目線で作ったもので満足していませんか。

本当は歯科医師との共同作業で行わないと、本当によい入れ歯はできません。

日々の忙しさに流れ作業的に作ってはいませんか？患者さん、歯科医師から色々な情報を得てチームで作製しなければ使いやすい義歯は提供できませんよ。

研磨した義歯を患者さんにお渡しして「慣れてもらうしかないです」という事は、歯科医師・歯科技工士の言い逃れではないかと思うのです。せっかく自分の作製した義歯が本当に使いこなせていなければ、作製した意味がないと思われまます。我々歯科技工士は生活のため技工をするのはもちろんですが、本来は患者さんのためだと考えます。

私が所属する「咬み合わせ医療会」では、「すべては患者さんと共に」をスローガンにしたチーム医療を目指しています。使い心地の良い義歯とは擦れる義歯です。実際に擦れる義歯を動画で見ると納得できると思います。擦れる義歯を作製するには、1回目のGoAによる下顎位採得と2回目のGoAによるリマウント咬合調整が必要です。今回はその術式をご紹介しますと思います。

今瀬 大輔

昭和63年 名古屋デンタル技工士学院 卒業

平成5年 愛知県大府市にて開業

平成22年 咬み合わせ医療会主宰 白石一男先生に師事

古田 貴司

平成2年 愛知学院大学歯学部 卒業

平成10年 咬み合わせ医療会主宰 白石一男先生に師事

平成11年 愛知県江南市にて開業

平成18年 咬み合わせ医療会 中部支部設立 支部長就任

平成18年 博士（歯科）号取得